

	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人	中西 宣人	DTM サウンドデザイン	サウンドデザイナー、楽器デザイナー。1987年生まれ。日本大学芸術学部音楽学科情報音楽コースを卒業後、東京大学大学院学際情報学府に入学し、多様な奏法に対応する音楽インタフェースやデジタル楽器の開発と研究に従事。 「The Cell Music Gear」、「B.O.M.B.」、「POWDER BOX」など開発したデジタル楽器が、Asia Digital Art Award 優秀賞、電子工作コンテスト優秀賞、Laval Virtual ReVolution “Residence”などに選出されている。また、これらの楽器を用いた演奏活動を国内外で行っており、千代田芸術祭2014音部門 岸野雄一賞、Georgia Tech’s Margaret Guthman Musical Instrument Competition 2017ファイナリストなど、入選歴がある。 現在は、センサー開発企業や教育機関とのデジタル楽器の共同開発、開発した楽器を用いた演奏活動を国内外で行うなど、音と音楽を中心として多角的に活動している。 現在、フェリス女学院大学音楽学部准教授。株式会社A-KAK取締役。	音楽制作ソフトは一見難しく、敷居が高いように感じる人も多いと思います。特に最初は「何から始めたら良いかわからない」ということもあるかと思いますが。 「PA制作」のレッスンでは、音楽制作ソフトのインストールから基本的な使い方、また本格的な音楽制作やサウンドデザインまで学習状況に合わせてサポートしていきます。是非PAレッスンを通して幅広い音楽の世界に触れ、新たな創作や制作にチャレンジしてみてください。
個人	次郎丸 智希	作曲・編曲 ピアノ	作曲家・ピアニスト・朗読家。福岡出身。大阪大学文学部卒（音楽学）、同大学院修了（ドイツ文学）、神戸大学大学院人間発達環境学研究科・博士課程修了（人間表現専攻）。ピアノを村上稔子、南部明子、片岡みどり、声楽・伴奏法を永井和子、朗読を花むらてんの各氏に師事。第17回万葉の歌音楽祭・大賞、第28回TIAA全日本作曲家コンクール（重唱・合唱の部）第1位受賞。文学と音楽両面からアプローチする独自の作風で多くの作品を発表。自作詩による作品も好評を得る。現在、フェリス女学院大学・音楽学部音楽芸術学科・准教授、お茶の水女子大学講師、女声アンサンブル「グーター・コンパス」代表。主な作品に、『アマビエ三部作』、独唱・重唱・合唱のための『百人一首によるうた』『万葉名歌集』、混声合唱と童声のための『堺かるた唄』、カンタータ『まかる空〜竹取物語より〜』、ミュージカル『星の王子さま』『真夏の夜の夢』他多数。自作の講習会を不定期に開催する他、YouTubeチャンネル「次郎丸智希」にて過去の作品・演奏・朗読動画『銀河鉄道の夜』を好評配信中。	作曲家・ピアニスト・朗読家として、言葉と音楽をテーマに活動をしております。人間の生活に不可欠な言葉、それにむすびつく音楽。どちらもわたしたちの根幹にかかわるものです。人々の生きる力となってきた先人たちの作品に学びながら、自分なりの音楽語法を探究し、作曲に挑戦してみましょう。どんな名作も最初の一步、最初の一音から始まります。自ら作る経験は、演奏や自己表現にも生かされることでしょう。